

事業概要【人流データ見える化事業】

自治体名	愛知県岡崎市	人口	381,338人	事業費	48,844千円
事業概要	岡崎市の中心市街地では「まちを歩いて楽しむ人」が増えてきた一方で、「賑わい増加」と「混雑緩和」の両立や民間投資の誘導が課題となっている。人流データ見える化サービスを導入し、エリアの人流（通行人数・通行人の属性）を定量的に把握することができる環境を整備することによって、住民や民間事業者がそれぞれの課題解決のために自らデータを分析することができ、意思決定が円滑となる。民間参加によるまちの魅力向上を目指す。				
具体サービス	【人流データ見える化サービス】 ＜概要＞ ・ 市内20箇所に人流分析カメラを設置 ・ 通行人の人数測定 ・ AIによる性別・年代等の推定 ・ ネットワークを通じて可視化システムへ集約 ・ 情報の統計処理、グラフや表による「見える化」 ・ まちのステークホルダーがニーズに合わせて自らデータを分析でき、意思決定が円滑に ＜効果＞ ・ 地域住民・観光客…まちの混雑状況を把握し、お出かけ満足度向上。機会損失の削減。群衆事故・感染症拡大の防止。 ・ 地域商業者…通行人数に基づく在庫管理。通行人属性に合わせた商品開発。 ・ 民間事業者…イベント開催・出店の意思決定 The diagram illustrates the service flow. At the bottom, 'Pedestrians' (通行人) are monitored by 'Human Flow Analysis Cameras' (人流分析カメラ). The data is then processed through 'Statistical Processing' (統計処理) to create the 'Human Flow Data Visible Service' (人流データ見える化サービス), which displays 'Number, Gender, Age' (人数 性年代) on a screen. This service is then utilized by three groups: 'Local Residents and Tourists' (地域住民 観光客) for 'Congestion Avoidance' (混雑回避); 'Local Business Owners' (地域商業者) for 'Inventory Management and Product Development' (在庫管理 商品開発); and 'Private Business Owners' (民間事業者) for 'Store Opening and Event Hosting' (店舗出店 イベント開催). All these actions lead to 'Problem Solving' (課題解決).				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①商店街の通行人数 ②人流データ見える化サービスの閲覧数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①岡崎城公園入込客数 ②公共空間民間イベント開催日数				